



2014年3月期第2四半期 決算説明会

2013年11月6日
ディービーエックス株式会社

当期の取り組み

当期の取り組み

不整脈事業

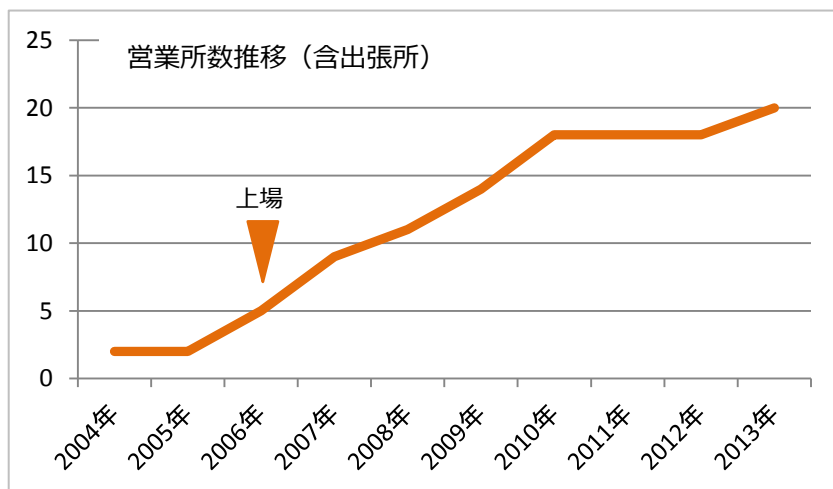
販売エリア拡大継続

- ✓ 福井出張所新設
- ✓ 広島、大阪、静岡、東北、栃木の重点拠点も順調に推移

虚血事業

新製品販売継続

- ✓ 名古屋営業所新設



営業所および出張所の分布
（本社および15営業所・4出張所）

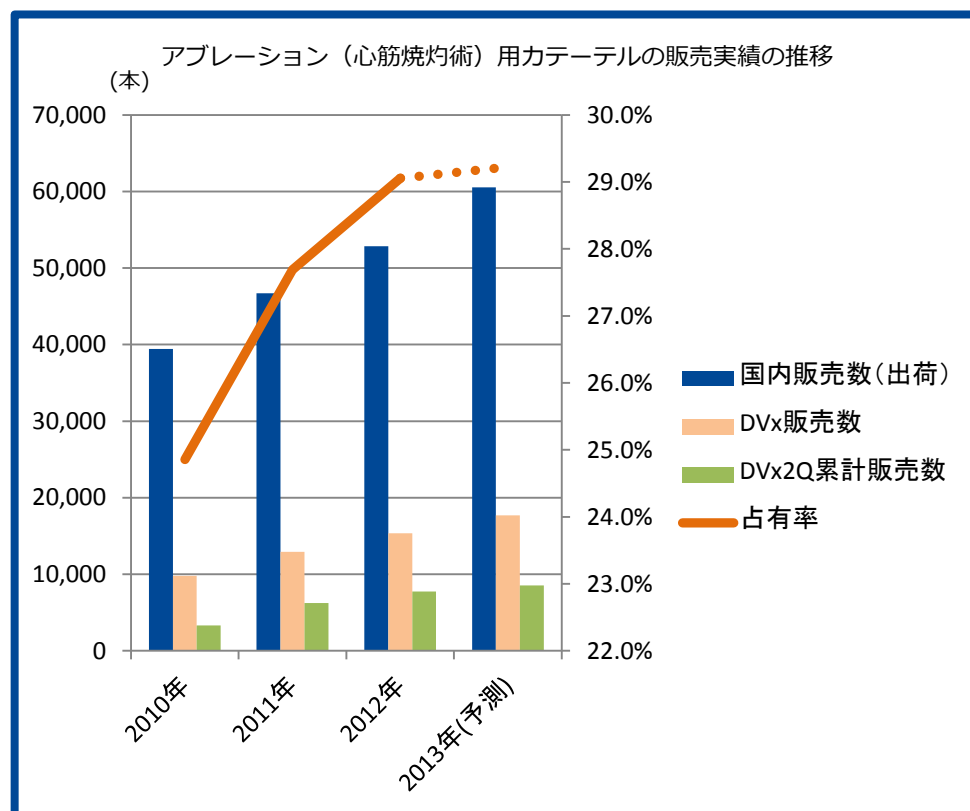


当期の取り組み

不整脈事業

販売エリア拡大継続

✓ アブレーションサポートの推進
⇒ 販売数量・占有率拡大中



国内販売数出典：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 No 1」

当期の取り組み

虚血事業

新製品販売継続

✓ エキシマレーザ導入の推進

⇒ 前期31施設から今期50施設へ

⇒ 当第2四半期進捗

販売 6施設 ↑

長期レンタル中 4施設

トレーニング中 20施設

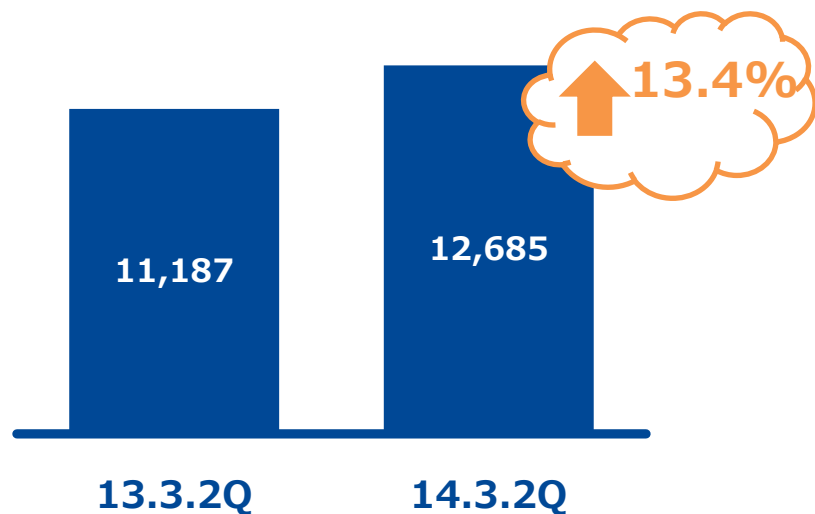
エキシマレーザ導入済み
施設の分布状況
(41施設)



決算概要

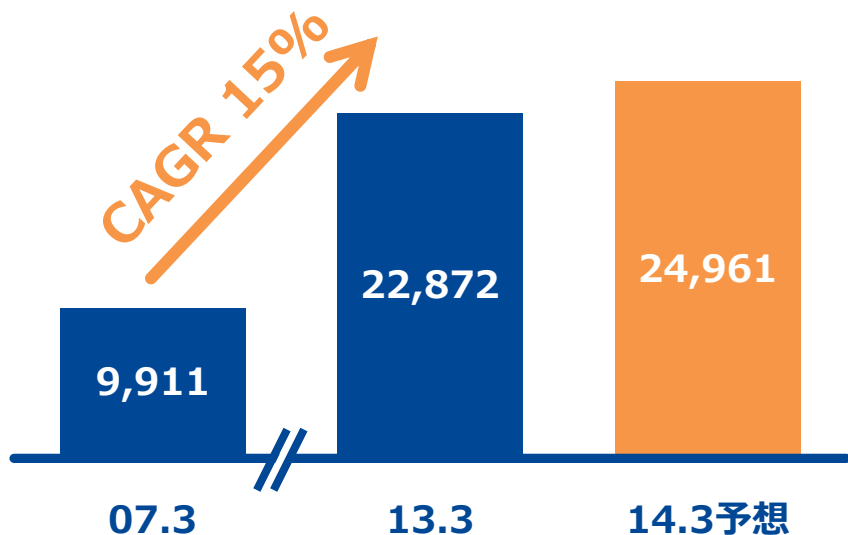
要約損益計算書、要約貸借対照表、要約CF計算書はP12～P14をご参照ください。

売上高



第2四半期累計 126億円

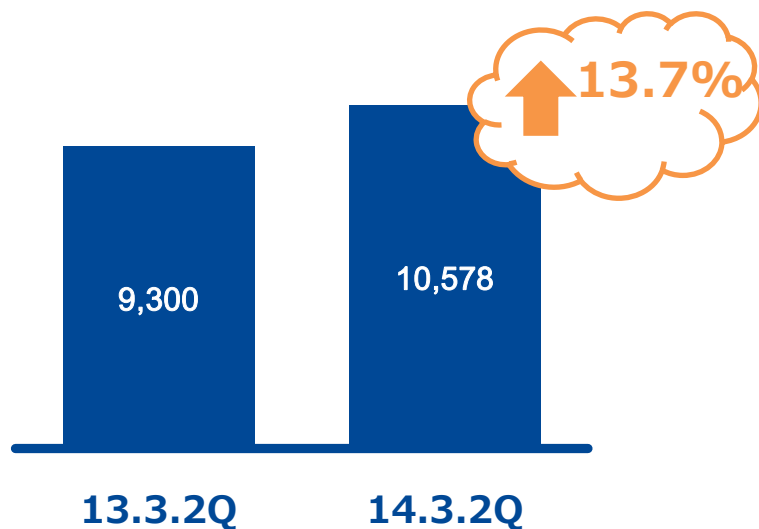
- ✓ 前年同期比13.4%増
- ✓ 連続増収更新
- ✓ 販売数量の増加による増収



通期予想 249億円

- ✓ 27期連続増収を見込む
- ✓ 上場以来年平均15%で成長

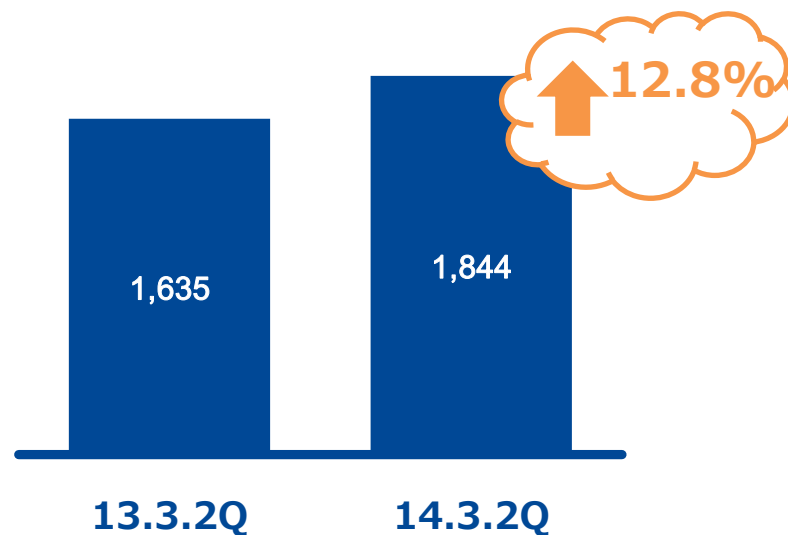
不整脈事業



売上高105億円

- ✓ 前年同期比13.7%増
- ✓ 主力商品の販売数量が増加
(ペースメーカー、ICD、
アブレーションカテーテル、
電極カテーテル等)

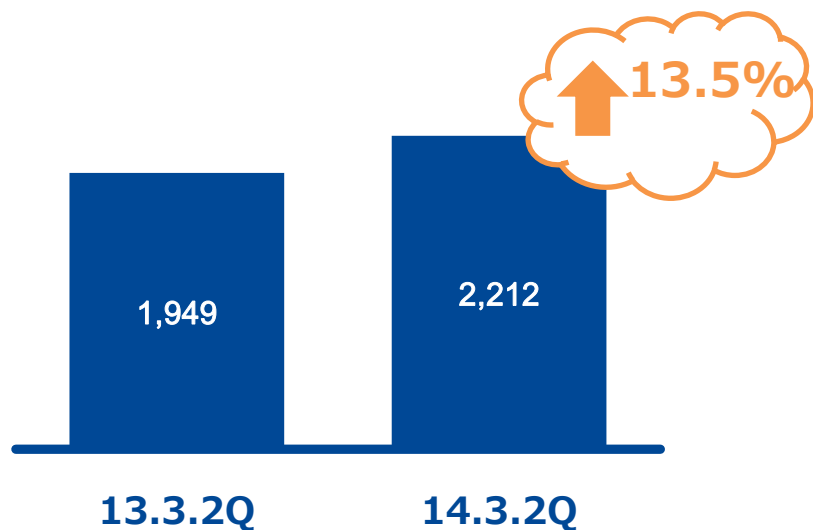
虚血事業



売上高18億円

- ✓ 前年同期比12.8%増
- ✓ 「ACIST」「エキシマレーザ」
関連商品の販売好調

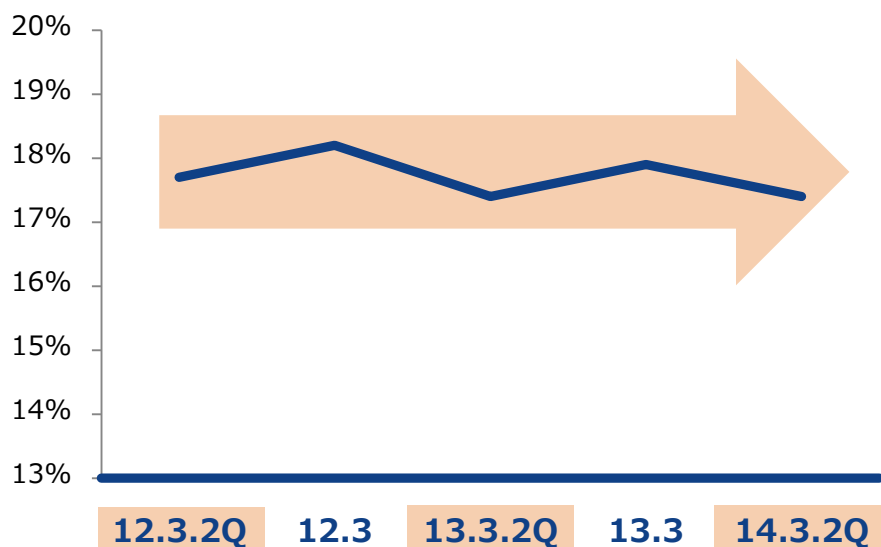
売上総利益



第2四半期累計 22億円

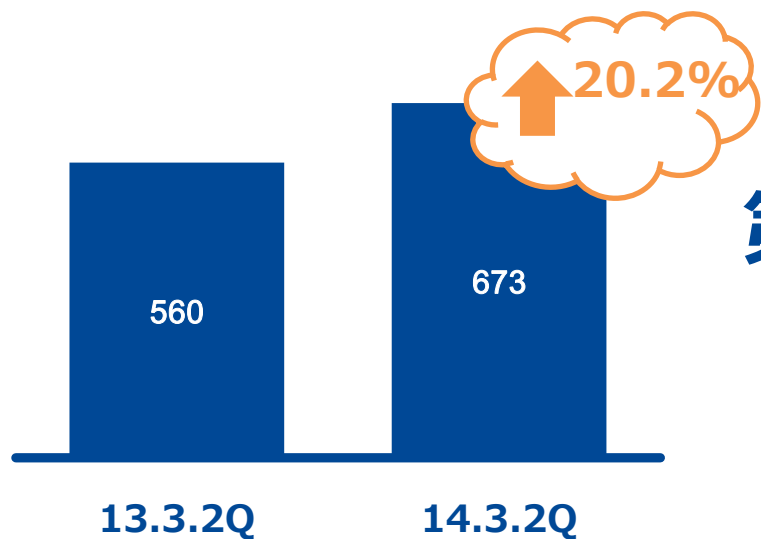
- ✓ 前年同期比13.5%増
- ✓ 連続増益更新
- ✓ 虚血事業では為替の影響による仕入価格上昇

売上総利益率



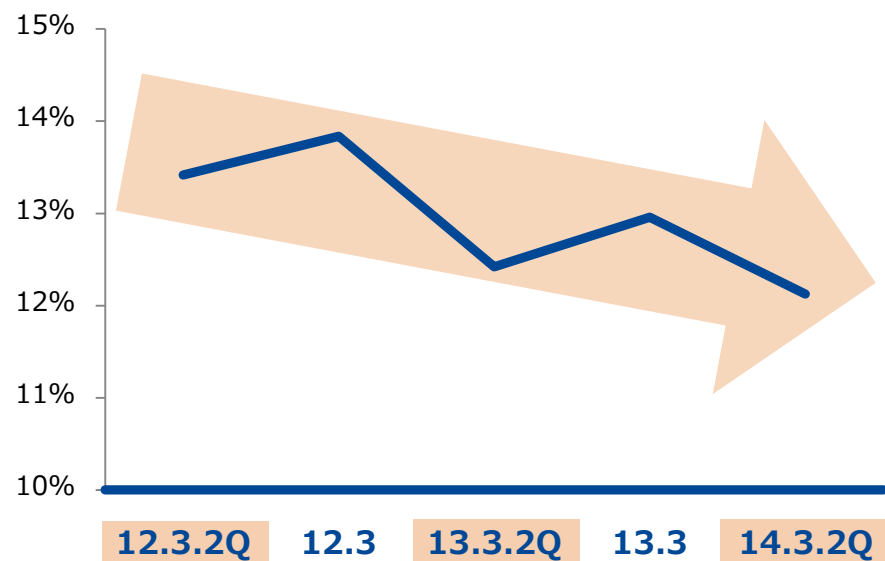
- ✓ 値下げ圧力や円安進行が利益率低下要因となるも、横ばい基調を維持

営業利益



第2四半期累計 6億7千万円

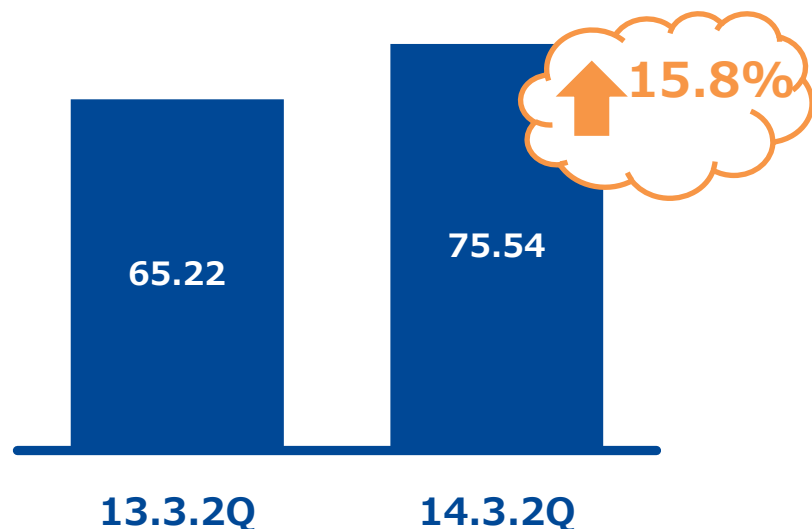
✓ 前年同期比20.2%増



販管費比率

✓ 緻密な販管費コントロールによる
コスト低減

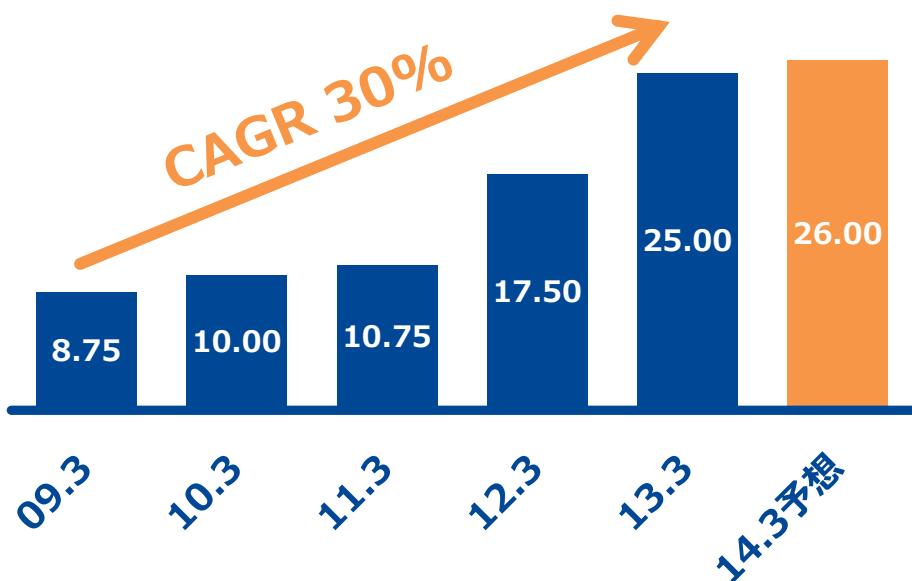
EPS



第2四半期実績75.54円

✓ 前年同期比15.8%増

通期予想 121.92円



期末配当予想 26円

- ✓ 上場以来連続増配の実績
- ✓ 配当性向20%以上を基本方針

要約損益計算書（第2四半期累計）

（単位：百万円）

	実績	構成比	前年同期実績	構成比	前年同期比	増減率
売上高	12,685	100.0%	11,187	100.0%	1,497	13.4%
売上総利益	2,212	17.4%	1,949	17.4%	262	13.5%
販管費	1,538	12.1%	1,389	12.4%	148	10.7%
営業利益	673	5.3%	560	5.0%	113	20.2%
経常利益	677	5.3%	569	5.1%	108	19.1%
四半期純利益	425	3.4%	367	3.3%	58	15.8%

要約貸借対照表（第2四半期末）

（単位：百万円）

	実績	構成比	前期末実績	構成比	前期末比	増減率
流動資産	9,901	93.6%	9,326	93.3%	574	6.2%
固定資産	680	6.4%	670	6.7%	10	1.5%
総資産	10,581	100.0%	9,996	100.0%	584	5.8%
流動負債	6,509	61.5%	6,179	61.8%	329	5.3%
固定負債	240	2.3%	275	2.8%	-35	-12.8%
負債計	6,749	63.8%	6,455	64.6%	294	4.6%
純資産	3,831	36.2%	3,541	35.4%	290	8.2%
負債純資産計	10,581	100.0%	9,996	100.0%	584	5.8%

- ✓ 売上増により売掛債権が610百万円増加、買掛債務が354百万円増加
- ✓ 借入金を63百万円返済

要約CF計算書（第2四半期累計）

（単位：百万円）

	実績	前年同期実績
営業キャッシュ・フロー	68	631
投資キャッシュ・フロー	-52	-22
財務キャッシュ・フロー	-204	-190
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,999	2,649

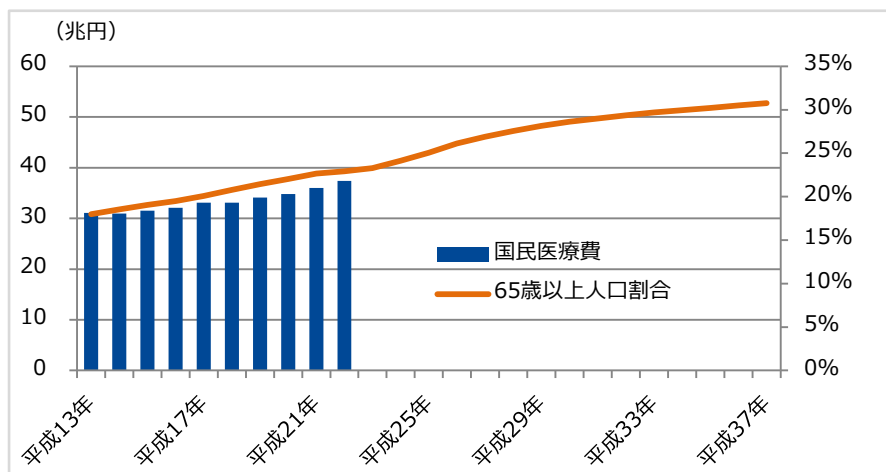
- ✓ 売上増による売掛債権の増加が営業CFにマイナスインパクト（-276百万円）
- ✓ エキシマレーザ等の販売増による在庫の増加が営業CFにマイナスインパクト（-107百万円）

參考資料

市場環境

国民医療費

● 国民医療費の推移と65歳以上の人口割合の推計（表1）



資料：厚生労働省「平成22年度 国民医療費の概況」、総務省統計局および国立社会保障・人口問題研究所の推計データを基に当社作成

● 国民給付費の将来見通し（表2）

	2006年度 (平成18) 予算ベース	2010年度 (平成22)	2015年度 (平成27)	2025年度 (平成37)
改革後	27.5 兆円	31.2 兆円	37 兆円	48 兆円
国民所得比	7.3%	7.4% ~ 7.7%	8.0% ~ 8.5%	8.8% ~ 9.7%
GDP比	5.4%	5.4% ~ 5.6%	5.8% ~ 6.1%	6.4% ~ 7.0%
改革実施前	28.5 兆円	33.2 兆円	40 兆円	56 兆円
国民所得比	7.6%	7.9% ~ 8.2%	8.7% ~ 9.2%	10.3% ~ 11.4%
GDP比	5.5%	5.8% ~ 5.9%	6.3% ~ 6.6%	7.5% ~ 8.2%
国民所得	375.6 兆円	403 ~ 420 兆円	432 ~ 461 兆円	492 ~ 540 兆円
GDP	513.9 兆円	558 ~ 576 兆円	601 ~ 634 兆円	684 ~ 742 兆円

資料：厚生労働省ホームページ
「医療費の将来見通しに関する検討会」資料より抜粋
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/07/s0701-2.html>

国民医療費

わが国の国民医療費は年々増加し、平成22年度で約37兆円に達しており、平成24年度では約39.5兆円に達していると推定されています（※）。今後、急速な高齢化の進展だけでなく、生活環境の変化による生活習慣病を中心とした慢性疾患型疾病の増加などにより、国民医療費はますます増大するものと推測されております（表1）。

加えて、今後、所得に対する負担率の増加が見込まれており（表2）、このため診療報酬体系の見直しや保険償還価格の引き下げなど、政府の医療費抑制政策は一層加速するものと考えられております。

※(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 NO.1」より抜粋
同社が厚生労働省保険局調査課発表の「最近の医療費の動向（診療種類別国民医療費）」から推測。

市場環境

医療機器・用品市場

●医療機器・用品の末端マーケットサイズの推移（表3）

単位：億円、% （ ）内は伸び率

	*平成20年度	平成21年度	*平成22年度	平成23年度	*平成24年度 (推測)	平成25年度 (予測)
末端マーケットサイズ	26,250 (-0.5)	26,800 (2.1)	27,240 (1.6)	27,510 (1.0)	27,400 (-0.4)	27,550 (0.5)
①卸・小売業者直販分	22,550 (0.1)	23,340 (3.5)	23,890 (2.4)	24,270 (1.6)	24,150 (-0.5)	24,250 (0.4)
うち31,32業種※の直販分	19,150 (1.2)	19,890 (3.9)	20,540 (3.3)	21,030 (2.4)	20,920 (-0.5)	21,050 (0.6)
②メーカー・輸入商社直販分	3,700 (-4.1)	3,460 (-6.5)	3,350 (-3.2)	3,240 (-3.3)	3,250 (0.3)	3,300 (1.5)

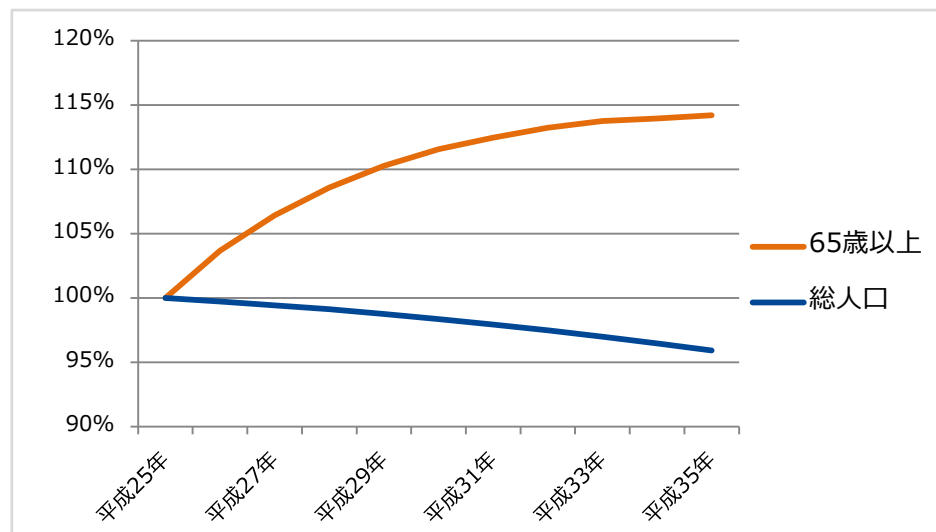
*は診療報酬・薬価改定年

資料：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 NO.1」

※31業種：医療機器卸・小売

32業種：医療用品卸小売

●平成25年を100とした場合の総人口と65歳以上人口の推移予想（表4）



資料：総務省統計局および国立社会保障・人口問題研究所の推計データを基に当社作成

医療機器・用品市場

国民医療費のなかで医療機器・用品（医療機関、大学・研究所向け）の占める割合を見てみると、末端マーケットサイズで平成5年度にはじめて2兆円を突破いたしました。その後政府の医療費抑制策を受け高額診療機械や保険償還価格の大幅な見直しが行われており、直近においてもマーケット規模は2兆6千億円から2兆7千億円台で概ね横ばいの状態で推移しております（表3）。

こうした中で、当社がメインターゲットとしている循環器系疾患は、当面人口増加が予想される65歳以上の高齢者において急増する疾病だけに、高齢化の進展により患者数は大きく拡大していくものと予想され、価格面では他の医療機器・用品と同様に医療費抑制策の影響を受けて下落傾向にあるものの、市場そのものは大きく拡大していくものと予想されております（表3、表4）。

市場環境

不整脈事業関連市場

不整脈事業（販売代理店業）の市場

不整脈とは、心臓を動かす刺激の発生または刺激が伝わる伝導路の異常によって心臓のリズムが乱れる疾病のことで、脈が遅くなる「徐脈」、速くなる「頻脈」、リズムが不規則になって脈が飛ぶ「期外性収縮」の3つに大別されます。原因としては、先天的なもの以外に高齢化や喫煙、ストレスなどによって引き起こされるといわれております。不整脈事業の市場は、こうした高齢化や生活スタイルの変化に伴う患者数の増大、新商品開発による適応患者の増加により安定した拡大を続けております。

商品別では、心臓ペースメーカ市場が伸び悩む半面、ICD（植込み型除細動器）やCRT-D（両室ペーシング機能付き植込み型除細動器）といったハイパワーデバイスと呼ばれる商品や、アブレーションカテーテル（心筋焼灼用カテーテル）の市場規模が大きく伸びており、横ばい状況が続いている医療機器・用品市場全体の中にあって、不整脈事業の市場は堅調に増加しております。今後も保険償還価格の下落は避けられないものの、市場そのものが拡大基調にあるため、このマイナス分を十分に補うことができると見られております（表5）。

●不整脈検査・治療関連製品の販売状況（表5）

製品	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年 (予測)	
		伸び率	※	伸び率		伸び率	※	伸び率		伸び率
心臓ペースメーカ	43,690	14.4	40,645	-7.0	40,881	0.6	36,830	-9.9	39,335	6.8
ICD/CRT-D	20,850	9.9	23,479	12.6	25,745	9.7	28,210	9.6	30,070	6.6
アブレーションカテーテル	6,191	38.3	7,689	24.2	9,579	24.6	11,137	16.3	12,610	13.2
電極カテーテル (検査用)	14,620	9.8	16,125	10.3	15,160	-6.0	14,830	-2.2	15,803	6.6
リード類	13,296	8.8	13,310	0.1	13,718	3.1	12,985	-5.3	13,580	4.6
合計	98,647	13.2	101,248	2.6	105,083	3.8	103,992	-1.0	111,398	7.1

(参考) 当社売上高(実績)

全社	15,793	20.7	18,000	14.0	20,487	13.8	22,872	11.6	24,961	9.1
内不整脈事業	13,581	20.3	14,688	8.2	16,580	12.9	18,830	13.6	20,294	7.8
市場占有率	13.8%		14.5%		15.8%		18.1%		18.2%	

資料：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 No. 1」より抜粋
※は診療報酬・薬価改定年

市場環境

虚血事業関連市場

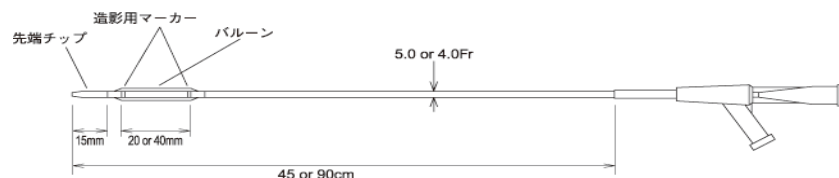
虚血事業（国内総代理店業）の市場

虚血性疾患は、血管が詰まったり細くなったりして起こる疾病で、心臓の冠動脈での心筋梗塞や狭心症、脳の血管での脳梗塞等がその代表的なものです。原因となる動脈硬化は、糖尿病や高血圧、高脂血症等によって進行し、肥満や喫煙、運動不足、ストレスの多い生活も動脈硬化を促進させるといわれております。

当社は、輸入総代理店として医療機器を販売しておりますが、医療機器として国内流通させるためには薬事法に基づき厚生労働省の承認が必要になります。

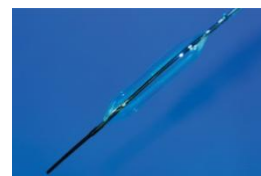


RADPAD®
X-Ray Protection Shield
ラドパッド®エックス線防護シールド

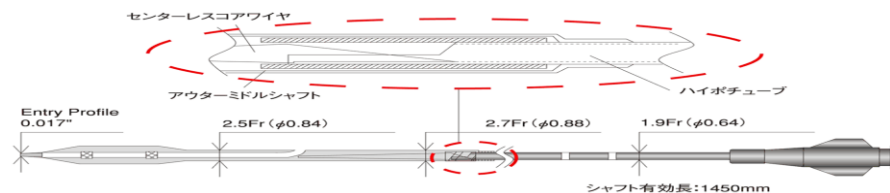


ACIST CV は世界の心臓学者による長年の経験と斬新なアイデアを元に開発された、循環器用インジェクターです。

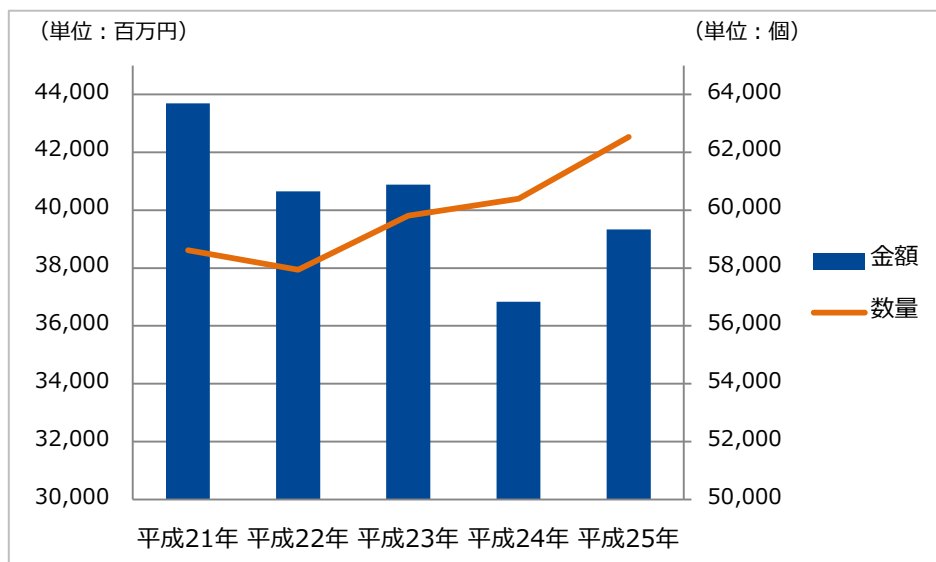
- ➔ その先進性は従来の造影手技環境を一新し、術者に集中力と手技効率の飛躍的な向上をもたらします。
- ➔ 最適な造影剤注入コントロールと専用キットによる造影剤管理システムは、造影剤量の削減に大きく貢献します。



**RADCAP
RADNEK**
X-Ray Protection Shield
エックス線防護シールド



●心臓ペースメーカーの市場規模（表6）



資料：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 No. 1」を基に当社作成



© Medtronic, Inc. 2009. All Rights Reserved.

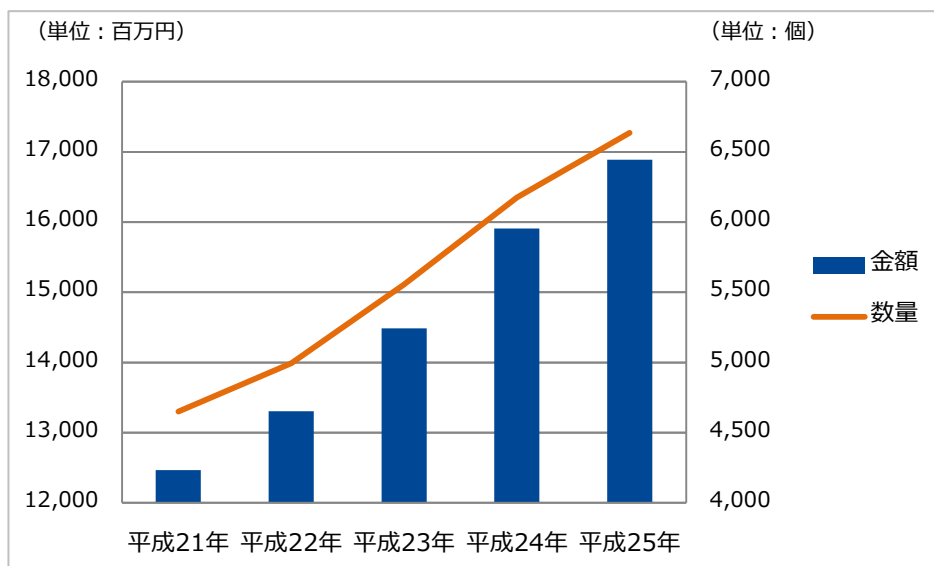
心臓ペースメーカー

心臓ペースメーカーは、不整脈のうちでも、主に徐脈の治療に使用されますが、同市場は、数量ベースでは増加基調が続いているものの、償還価格の引き下げによる影響を受けており、直近の市場規模は400億円前後で推移しております。なお、平成24年4月に行われた償還価格の改定においては、デバイス全体の平均で13%程度の引き下げが行われたため、市場規模が前年比で約9.9%縮小しました（表6）。

今後の見通しとしては、償還価格の低下傾向は続くと思われるものの、引き続き高齢化等による患者数の増加により、数量の伸びが予想されるとともに、新しい機能が付加された商品が市場に登場することで既存商品より高い償還価格が付くことも考えられることから、市場規模は一定水準を維持していくものと考えられます。



● I C Dの市場規模（表7）



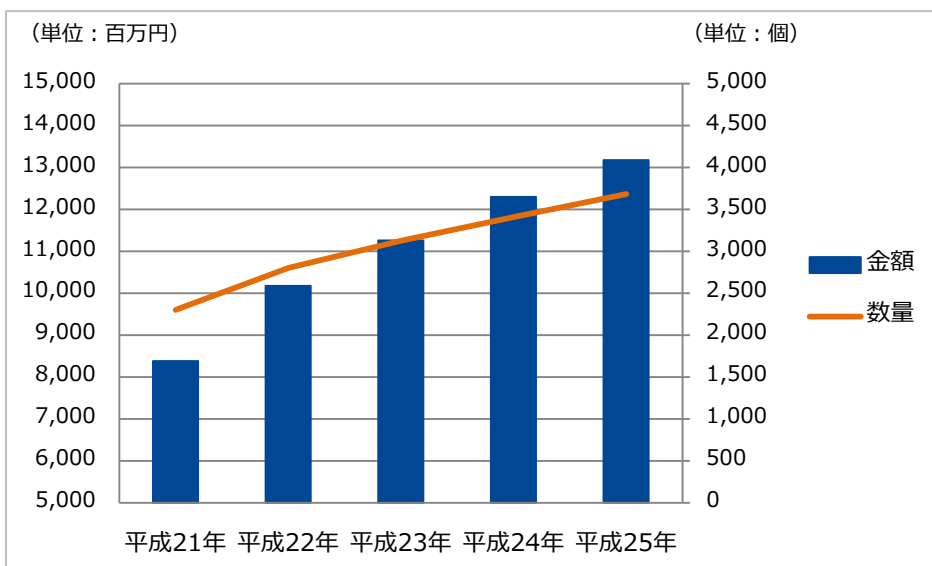
資料：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 No. 1」を基に当社作成

I C D（植込み型除細動器）

心臓ペースメーカーが徐脈の治療に使用されるのに対して、I C D（植込み型除細動器）は頻脈の治療に用いられております。同商品は、平成8年4月の診療報酬改定で保険適用となっており、心臓ペースメーカーと比較すると新しい商品ですが、適応患者の増加や新商品の登場とともに市場規模が拡大しております。直近においても、数量ベースでは10%前後増加しており、今後もその傾向は続くものと考えられます（表7）。



● CRT-Dの市場規模（表8）



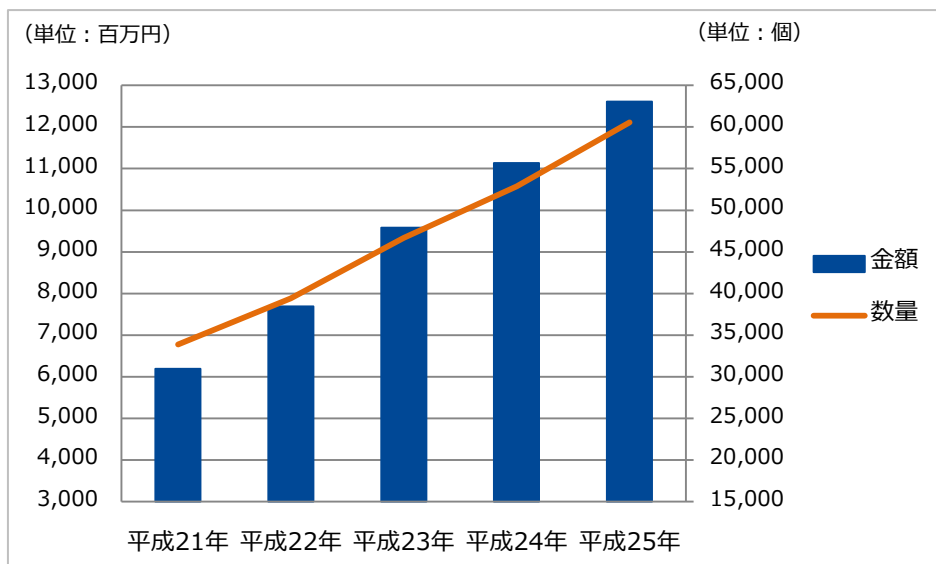
資料：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 No. 1」を基に当社作成

CRT-D

（両室ペーシング機能付き植込み除細動器）

CRT-D（両室ペーシング機能付き植込み型除細動器）は、ICDの機能と、心不全の治療の一種である心臓再同期療法の機能を併せ持つ商品であり、平成18年8月に保険適用を受けたものであります。それ以降、ICDに比べると適応範囲が広いこともあり、市場規模はICD以上の伸びを示しております。今後も、新商品の投入や適応患者の増加により、増加傾向が続くものと考えられます（表8）。

● アブレーションカテーテルの市場規模（表9）



資料：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 No. 1」を基に当社作成

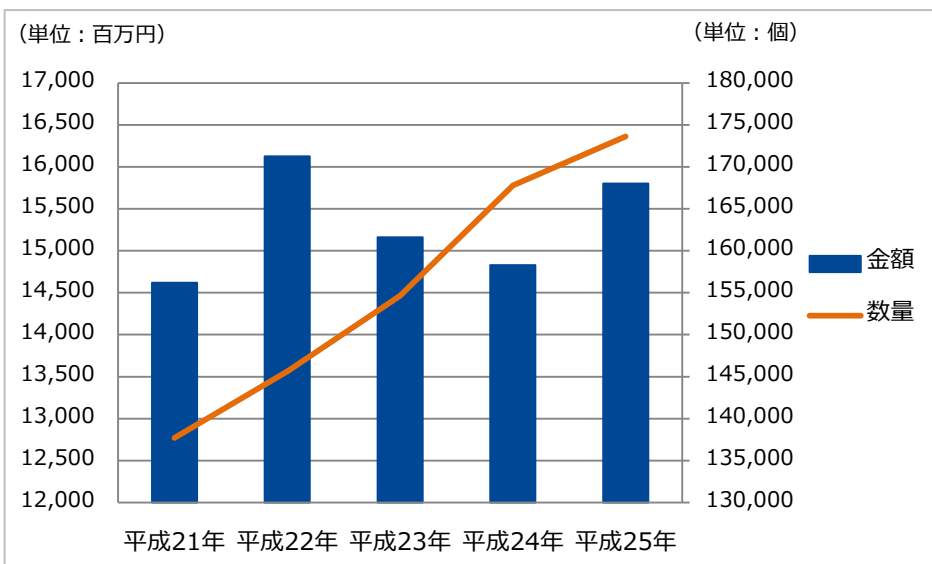


アブレーションカテーテル （心臓焼灼用カテーテル）

アブレーションカテーテル（心筋焼灼用カテーテル）は、頻脈の原因となる心筋組織を焼灼することで治療する商品であります。WPW症候群と呼ばれる症状のほか、房室結節リエントリー性頻拍、心房粗動、心室頻拍に加え、心房細動の治療にも用いられるようになる等、対象となる症例の幅が広がってきたことから、市場規模は年々増加しており、今後もその傾向が続くものと考えられます（表9）。



●電極カテーテルの市場規模（表10）



資料：(株)アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2013年版 No. 1」を基に当社作成

電極カテーテル（検査用）

電極カテーテルは、不整脈の診断、重症度評価、抗不整脈薬の薬効評価の他に、心臓ペースメーカーやICDの適応決定等、重要な役割を持った商品です。不整脈の症例数増加に伴って、継続的に数量が増加しており、今後もこの傾向は続くものと考えられます（表10）。

なお、平成23年については、数量が増加している中で金額が減少いたしましたが、これは、従来本商品市場に分類されていたアブレーション機能も併せ持った高価格の電極カテーテルが、アブレーション機能付電極カテーテルとして保険適用となり、これをアブレーションカテーテルの分類に移したことによるものであります。



自動造影剤注入装置（インジェクタ）

心臓の冠動脈の検査は、カテーテルを冠動脈に挿入し、これに造影剤を注入した上で放射線を照射することで行いますが、当社では、この造影剤を自動的に注入する装置を販売しております（商品名「A C I S T」）。同市場では、A C I S Tの他に、競合品として2製品が販売されています。

当社製品を導入いただいている医療施設は、地方基幹病院が多く、稼働率が高いことから装置の消耗品については約60%以上の占有率があると推計しています。



エキシマレーザ血管形成システム – 冠動脈形成術

当社が日本国内で独占販売しているエキシマレーザ血管形成システムには、現在、日本国内において以下の2つの治療に適用が認められています。

エキシマレーザによる冠動脈形成術

心臓に血液を運ぶ冠動脈が動脈硬化や血栓によって狭窄または塞栓すると、狭心症や心筋梗塞の原因になります。血管内に挿入したエキシマレーザ専用カテーテルの先端から、狭窄や塞栓を起こしている部位にエキシマレーザを照射することにより、プラークや血栓を分子レベルに蒸散し、血管内の血流を改善します。国内でエキシマレーザ治療システムによる治療が可能な医療施設は、現在、約30施設しかありません。年間43,000人以上が死亡する急性心筋梗塞やステント治療後の狭窄や塞栓の再発の治療において、エキシマレーザが持つ大きなメリットに対する医師の関心が高まり、冠動脈形成術の本格的な普及がはじまるものと予想しております。

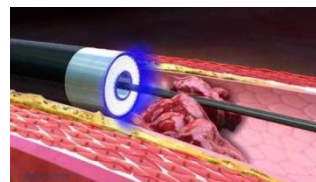
なお、エキシマレーザ血管形成システムは、この血管形成術に使えるレーザ装置として日本国内で唯一承認された医療機器です。



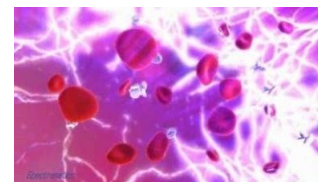
①病変部へガイドワイヤーを通します



②レーザカテーテルを入れます



③病変部へレーザを照射します



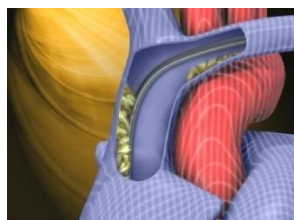
④病変部が蒸散



エキシマレーザ血管形成システム – 心内リード抜去術

エキシマレーザによる心内リード抜去術

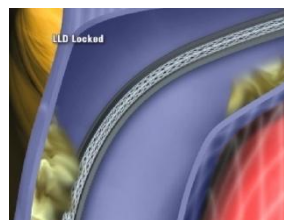
ペースメーカやICD等のデバイスが菌に感染すると、デバイスと心臓をつなぐリード線を通じて全身に菌の感染が広がります。感染を完全に治療するには、感染源であるデバイスやリード線を抜去する必要があります。しかし、リード線は血管内や心臓内に長期間留置されることで、血管や心臓の組織と癒着しており、抜去することが困難になります。レーザシースカテーテルの先端から照射するエキシマレーザにより、リード線に癒着した血管や心臓の組織を蒸散し切除することで、リード線の抜去を可能にします。



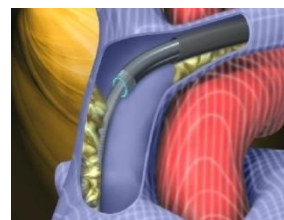
① ペースメーカ、ICD
リード線が癒着



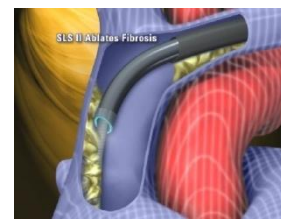
② リードロッキングデ
バイスをペースメーカ等の
リード線中空に挿入



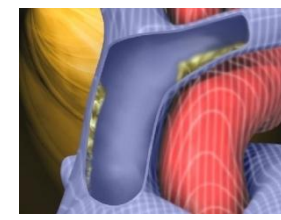
③ リードロッキングデ
バイスを広げペースメー
カ等リード線に固定



④ リードロッキングデ
バイスを牽引しながら
ペースメーカ等リード
線にレーザシースを
かぶせる



⑤ 癒着部分を蒸散し
リード線を血管壁から
剥離



⑥ ペースメーカ等リード
線を抜去終了



Development

Venture

X (無限の可能性)

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

I R についてのお問い合わせ先

ディーバイエックス株式会社 経営管理部 TEL : 03-5985-6827 FAX : 03-5985-6106

U R L <http://www.dvx.jp/>